



もとみや

議会だより

第2号

平成19年4月発行



ピカピカのいちねんせい

(糠沢小学校入学式)

9 会計・総額196億円で始動！

新市の19年度予算を検証

3
月
定
例
会

19年度予算を可決 2P~

40議案を審議
小学生の入院医療費助成 6P~

ここが聞きたい
13議員が一般質問 8P~

声 - 議会傍聴に行ってきました - 16P

予算総額

196 億 933万 2 千円

9 会計の

平成19年度予算を可決

平成19年度各会計予算は、本会議において各常任委員会へ審査を付託、3月16日

から22日までの4日間、合併後初の本格的予算について、詳細に精査し質疑を交わ

しました。

予算審査の内容を要約してお知らせします。

一般会計

100億円を計上

(前年比
6.0%増)

依然厳しい

地方財政

国は、平成19年度予算を今後の新たな改革に向けた出発点となる重要な予算と位置づけ、これまでの財政健全化の努力を今後とも継続し、歳出・歳入一体改革に正面から取り組むとし、成長力強化と財政健全化の双方を踏まえたバランスの良い経済財政運営を

図ることとした。

また、平成19年度の地方財政については、前年度に引き続き大幅な財源不足の状況にあり、借入金の償還や社会保障関係経費の自然増も見込まれることから、将来の財政運営が圧迫されることが強く懸念される。

会計別予算額

(単位：千円)

会計名	予算額	対前年増減率(%)
一般会計	10,000,000	6.0
国民健康保険 (事業勘定)	3,085,803	15.9
特別会計 (直営診療施設勘定)	98,142	△11.6
老人保健特別会計	2,893,655	6.0
介護保険 (保険事業勘定)	1,428,914	3.0
特別会計 (介護サービス事業勘定)	5,774	△59.1
公共下水道事業特別会計	892,447	1.9
農業集落排水事業特別会計	48,060	△4.3
工業用地造成事業特別会計	235,913	△52.9
住宅団地造成事業特別会計	1,220	100.0
水道事業会計	919,404	△0.8
総計	19,609,332	6.7

⑨ 対前年増減率は、旧両町村の合算額との比較。
水道事業会計は、収益的支出を記載。

予算編成方針

平成19年度予算編成は、新市基本計画との整合性を図りながら、税収入の確保、受益者負担の適正化等財源の確保に努め、事業の重点選別による調整を行った。
また、積算にあたっては、

合併協議会での協定項目及びその調整方針に基づく編成を行い、子育て・安全安心・福祉対策・教育環境の整備を重点に編成した。

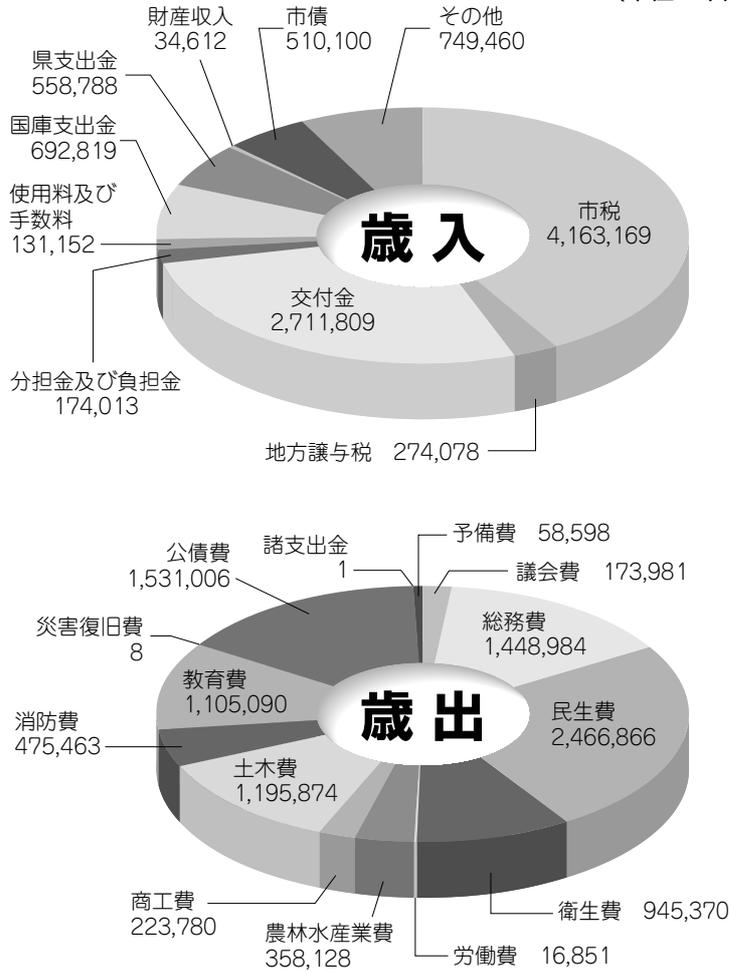
平成19年度当初予算規模は、一般会計で、前年度（旧町村当初予算合算額）比6・0%増の100億円、国民健康保険など7つの特別会計は、合計で前年度比4・3%増の8億8千992万8千円、公営企業会計である水道事業会計の水道事業費用は、前年度比0・8%減の9億1千940万4千円となった。

平成19年度当初予算規模は、一般会計で、前年度（旧町村当初予算合算額）比6・0%増の100億円、国民健康保険など7つの特別会計は、合

一般会計歳入・歳出内訳

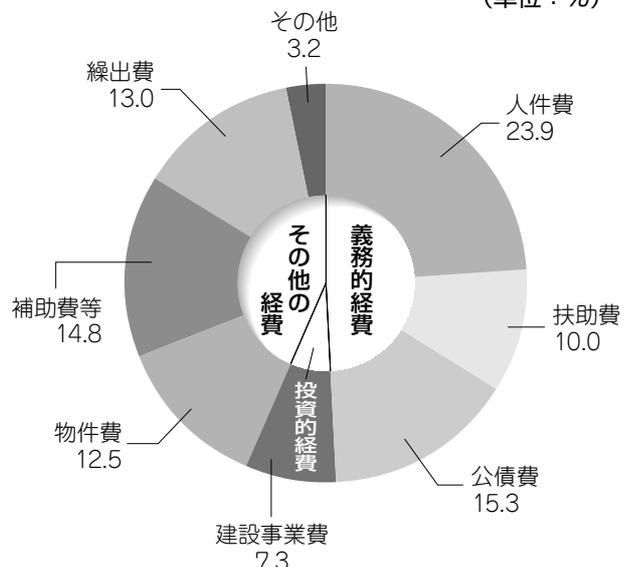
総額100億円

(単位：千円)



平成19年度一般会計歳出予算 歳出別分類

(単位：%)



重点事業!!

- ① 豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり
本宮小学校改築・大規模改修事業、岩根小学校増築工事設計業務、小中学校メニュー選択制補助金導入、学校読書の充実、図書情報システム統合
- ② 住民と行政の協働による自立したまちづくり
新市総合計画策定、公債費負担適正化計画策定、男女共同参画プラン策定
- ③ 共に支えあうやさしいまちづくり
市民の健康づくりと地域福祉の新たな拠点となる複合施設の建設、小学生の入院医療費助成、家庭児童相談室の設置
- ④ 活力あるふるさとのまちづくり
市街地整備事業、農村振興総合整備事業
- ⑤ 安全安心な環境のまちづくり
名郷橋改修のため道路改良事業、あだたらドリームライン整備事業、菅田橋架替事業

予算審査の論点を ピックアップ

一般会計

総務文教関係

行政情報放送委託料

議員 ミニFM局への放送委託の必要性は。

答 現行の防災行政無線とFM双方の活用で、行政情報の伝達向上を図る。

行政区長事業

議員 報奨金や交付金等の制度が本宮地区と白沢地区で異なるが、統一の時期は。

答 19年度に実態の検証と関係者との意見交換を行い、20年度に調整を図りたい。

税法改正

議員 所得税と住民税の税率変更による影響は。

答 所得が同じであれば個人の負担額は変わらないが、定率減税廃止の分は負担増となる。

新交通システム

議員 本宮地区の巡回バスと白沢地区のデマンドバスの統合も含めた新交通システムは。

答 交通弱者に配慮した新

交通システムを19年度中に構築していきたい。
岩根小学校増築設計

議員 2教室の増築を応急的に行うのは非効率。将来を見越して計画すべきでは。

答 児童数が国庫補助採択基準をわずかに下回るため、応急的な措置としたが、国庫補助金を見据えながら対応したい。

生活福祉関係

障がい者福祉事業

議員 障がい者に対する必要な情報提供や助言等の支援策は。

答 安達管内共同で相談支援体制を構築し、障害者自立支援法に基づくサービスの円滑利用を促す。

ごみ減量化・資源化

議員 19年度からの5種類分別の効果と問題点は。

答 正しく分別すればプラスチックごみの約6割が再利用可能なため、説明会や広報で理解促進を図りたい。

高齢者ふれあいプラザ

議員 利用促進策として補助



児童の増加が続く岩根小

答 他部署所管施設を含め、買収について今後統一見解を検討する。

建設水道関係

浄化槽維持管理補助金

議員 制度の周知と商品券等による補助の考えは。

答 広報紙や防災無線の活用も含め周知を図る。地域振興の観点から商品券等の補助も今後検討。

市道の改良要望

議員 改良要望路線数と今後の対応は。

答 本宮地区44路線、白沢地区33路線を把握しており、改良時期や順序は今後検討。

産業商工関係

都市住民との交流

議員 岳山ふれあいの森の施設利用状況と今後の都市住民との交流は。

答 年間3千7百人程度の利用がある。都市住民の受け入れも今後検討。

土地倍上料

議員 農村公園等の借地施設の今後の対応は。

特別会計

国民健康保険

議員 直営診療施設経営の収支状況の動向は。

答 診療報酬引下げの影響や再診料が減少しているが、経営に多大な影響はない。





改良が進むドリームライン

採決

特別会計等

全員可決

老人保健

介護保険

公共
下水道事業

農業集落
排水事業

工業用地
造成事業

住宅団地
造成事業

水道事業会計

介護保険

議員 施設入所待機者が多い中、在宅生活者への支援策は。

答 ショートステイの利用を勧め、介護者の負担軽減を促したい。

公共下水道事業

議員 施設維持管理のありかたは。

答 委託業務を本年10月から、入札による3～5年の長期契約とすべく検討している。

水道事業

議員 白沢地区へ本宮からの給水計画は。また、水道料金の統一時期は。

答 給水計画策定が最重要課題と認識。ある程度まとまった量が供給可能となった段階で料金の統一を図りたい。

討 論

一般会計

反対

合併協議に基づき、住民サービスの面で両町村の良い点を採用し、子育て支援対策等多くの施策は評価できるが、一方で旧来の事業廃止、補助金削減が行われたことは残念であり納得できない。財政問題は本市の最大の問題であるが、住民の暮らしと健康、福祉を守ることが自治体の最大の使命のほうであり、新市に求められているのは、住民の願いの実現を優先しながら財政を立て直すことであり、本案に同意しかね、反対する。

賛成

新年度予算では、合併協定を尊重し、協定項目、調整方針に基づいた予算編成を行っており、旧町村の重点事業はそのまま継続し、新規事業も新市基本計画との整合性を図りながら、重点施策・重点事業を選別し取り組んでいる。

本予算編成は、新市の円滑な財政運営と均衡ある発展、新市の一体性の確保及び市民福祉の増進に大いに期待できるものであるとともに、将来の財政負担を見通したものと評価し、賛成する。

採決の結果、賛成多数（賛成30人・反対3人）で可決

国民健康保険特別会計

反対

国保では被保険者の所得減少と国庫負担の削減により、保険料が払えない人の増加が大きな問題となっている。

このため、保険料収納率向上と称して、資格証明書を発行し保険証を取り上げているが、国保税滞納は能力を超える保険料水準が原因であり、住民に医療保障する制度が逆に社会的弱者を医療から排除することになり、資格証明書発行が含まれている本予算に反対する。

賛成

医療費の増加により国保は厳しい事業運営状況にあり、長期滞納者対策として、やむを得ず資格証明書や短期保険者証を発行しているが、国保制度の適正な運営と財政安定のためには、負担の公平性が不可欠である。

本予算は疾病の早期発見、早期治療を推進するための事業を盛り込み、住民が健康で暮らせるよう配慮したものであり、賛成する。

採決の結果、賛成多数（賛成30人・反対3人）で可決

複合施設整備基金条例制定

3月定例会（第2回本宮市議会定例会）は、市長から新年度予算9件をはじめ、各種会計の平成18年度予算や条例の制定など40議案が、提出されました。

また、最終日には市長から人事案件11件をはじめ追加議案13件と、議員発議3件が提出され、全てを原案どおり可決しました。

小学生の入院医療費の助成 本宮市立幼稚園条例の一部改正

主な議案

小学生の入院医療費の助成に関する条例制定

小学校就学前までの子供の医療費助成に加え、子育て支援策の一環として、医療費が高額となる小学校卒業までの6年間入院医療費について助成を行うものです。

放課後児童保育条例の一部改正

保育料の算定基準を前年度の市民税課税状況（前々年度所得）から、保護者の生活実態に即した当該年度課税状況（前

年度所得）に変更するものです。

本宮市立幼稚園条例の一部改正

放課後児童保育条例同様、保育料の算定基準を当該年度課税状況に変更するものです。

また、岩根地区で住宅団地の急増や保護者の就業状況などから保育機能を持つ施設の設置が急務となっているため、岩根幼稚園の預かり保育時間を延長するものです。

本宮市議会議員の選挙区の設定及び各選挙区において選挙すべき議員の定数に関する条例制定

選挙について、旧町村毎に選挙区を設け、定数をそれぞれ本宮選挙区17人、白沢選挙区7人とするものです。

複合施設整備基金条例制定

本宮町・白沢村合併協会の決定と公職選挙法の規定に基づき、今後最初に行われる市議会議員

福島県立リハビリテ-



預かり保育時間を延長する岩根幼稚園

議案審議

平成18年度会計別予算額

(単位：千円)

会計名	予算額	
一般会計	4,268,857	
国民健康保険特別会計	(事業勘定)	1,063,186
	(直営診療施設勘定)	42,053
老人保健特別会計	979,760	
介護保険特別会計	(保険事業勘定)	492,151
	(介護サービス事業勘定)	1,723
公共下水道事業特別会計	435,810	
農業集落排水事業特別会計	29,807	
工業用地造成事業特別会計	171,673	
住宅団地造成事業特別会計	6,726	
水道事業会計	583,154	
総計	8,074,900	

⑨ 水道事業会計は、収益的支出を記載。

本宮市営駐車場指定管理者の指定について

シオン飯坂温泉病院本宮診療所の廃止に伴い、同診療所が担ってきた地域医療に代わる機能として、地域住民の健康づくりと地域福祉の新たな拠点としても複合施設を整備するにあたり、県からの交付金等を積み立てる基金を創設するものです。

現行の本宮市営駐車場

平成18年度多分会計予算

指定管理者の指定期間が3月末で満了となるため、2団体からの指定申請を検討した結果、株式会社Mot・comもとみやを平成23年度末までの5カ年間、指定管理者として指定するものです。

新市の行政執行にあたり本年1月1日に専決処分した平成18年度本宮市一般会計暫定予算ほか8件の暫定予算を包含する

人事

各会計の平成18年度予算を可決しました。

副市長の選任

地方自治法に基づき選任に同意しました。

中野一夫氏

(本宮字東町)

教育委員会委員の任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、次の5人の任命に同意しました。

伊藤滋敏氏

(本宮字九縄)

北山市郎氏

(糠沢字光が丘)

大内綾子氏

(本宮字千代田)

仲川 清氏

(糠沢字光が丘)

佐久間和夫氏

(高木字井戸上)

監査委員の選任

地方自治法に基づき、次の2人の選任に同意し

つき、次の5人の任命に同意しました。

日向正直氏

(高木字大岩)

渥美誠二氏

(仁井田字村山)

固定資産評価審査委員会委員の選任

地方税法の規定に基づき、次の3人の選任に同意しました。

伊豆康男氏

(本宮字万世)

吉田武司氏

(和田字平内)

選挙

渡辺弘一氏
(本宮字栄田)

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

◎選挙管理委員会委員

石井 林氏

(本宮字花町)

武藤彦恵氏

(青田字庄内)

松本 努氏

(稲沢字雨堤)

国分八重子氏

(糠沢字小田部)

◎同委員補充員

(補充順位順)

近藤芳彦氏

(本宮字中條)

渡辺信康氏

(白岩字関根)

遠藤順子氏

(荒井字荒町)

石川啓子氏

(白岩字堤崎)

一般質問

市政を問う

13議員が登壇



Q 合併後の行政不安解消策は
A 各種行事に積極的に参加する

博 作田 議員

【合併後の行政不安解消策は】

合併後の行政不安を解消し、市民相互の信頼と理解を得るための第一歩は市民間の融和であると考えます。その選択肢の一つとして、芸術、文化、スポーツ等を通じ、既存の文化団体や体協等の協力を得ながら融和を図つ

ては。

【各種行事に積極的に参加する】

提案の文化関係、あるいはスポーツ関係、それぞれの団体と、会合・各種大会等に積極的に顔を出させていただき、ぜひ一日も早く、本宮市は一つ・心は一つという方向にむけての最大限の努

力をしていく。

【新市の具体的な実施計画の策定は】

あたらしいまちづくり計画は、本宮市基本計画概要に示されているが、具体的な実施計画は示されていない。より現実的な実施計画を早急に公表することが重要と思うが。

【人材の発掘、育成に努める】

本市の抱える現状分析による政策の課題、政策体系を整理しながら課題解決のため、専門知識や技術を有する指導者やボランティア、団塊の世代の方々も含め、協力を頂き、具体的な実施計画の策定に当たりたい。



スポーツを通じて融和を



立地が進む工業等団地

【市民が不安解消できる財政計画を】
問 市民は、第二の夕張になると宣伝され不安に陥った。責任を持てる返済計画を示すことだ。それには、工業団地債務低利固定が不可欠。その役目の責務は市長が県当局とのトップ交渉で決め、将来混乱をまねかない文書交換が必要ではないか。

【安心感が得られるよう説明する】
答 金利の上昇等、不安定なことはあるが、市の財政、将来計画を練り直し、歳入歳出等の分析をした中で、県の上層部と協議し、秋ごろまでに、ある程度返済計画を具体化したかと思っている。今後の交渉は議事録を取りながら進めていく。

【理由を付けずに一般競争導入を】
問 入札制度の改善は、何度も言われているが何れも効果が無い。法には一般競争入札が原則に定められている。理由を付けずに導入できるかの決断にある。市民・職員には行革を実施しているがこの部門には手を付けていない。早期導入の考えは。

【全面的に一般競争入札としたい】
答 一般競争入札導入については、現在検討委員会の中で問題点・効果等々、最大の課題になっているが、19年4月もしくは6月の検討のまとめ次第になると思う。ある程度見通しがつけば、19年度の早い時期に一般競争入札にしたい。



Q 市民が不安解消できる財政計画を
A 安心感が得られるよう説明する

島田和夫 議員

【市の債務は】
問 市長は今後40年間で巨大な債務を何十%減らす計画であるのか。
 また、健全財政策定委員会等の設置の考えは。
答 【常に中長期的な観点で進める】
答 具体的に債務を何%減らすのかという目標は、

今後の中長期的な財政計画をつくり数値をまとめたい。現在、市には企画調整委員会があり、内部の様々な問題を横断的、総合的に早期に検討を進めていく。
問 【市の主な事業は】
答 重度に老朽化している本宮小、白沢総合支所

の建設計画は。
答 また、市内幹線路継続工事及び市の採択路線の建設計画は。
問 【新市の基本計画を重視し進める】
答 本宮小は、平成17年から5カ年計画で計画しており逐次実施中であり、22年までには完了する予

定である。白沢総合支所建設は、新市の財政状況を勘案し取り組む。市内幹線路・採択路線は、財政状況及び優先順位を新市の基本計画に沿って実施していく。



Q 市の債務は
A 常に中長期的な観点で進める

渡辺嘉彦 議員



改修が待たれる本宮小



地元業者の育成は



Q 入札制度を改革する考えは

A 一般競争入札の導入を検討している

渡辺由紀雄 議員

【入札制度を改革する考えは】

問 公共工事の談合問題が全国でとりざたされている中で、当市も一般競争入札を取り入れるのか。また、地産地消や地元業者の育成との整合性をどのように考えるのか。業務委託や物品購入における随意契約も見直すべきではないか。

【一般競争入札の導入を検討している】

答 指名競争入札を廃止し、一般競争入札を導入すべく現在検討中である。参加要件の中で地元業者の受注機会が損なわれないうように地域要件を設けていく。公共工事以外の一般競争入札は、今後の課題として考えていく。

【商業活性化をはかる考えは】

問 大規模小売店の進出によって地元の商店からは客足が遠のいているが、商業の活性化をどのように進めようか。また、商品券を市の補助・助成事業に活用して地産地消をはかるべきではないか。

【資金環境の支援をしていく】

答 個人の方に行政として支援は難しいが、金融支援の中で応援していく。地元のお店は地元の市民が守っていく認識を持つよう行政の働きを強めたい。商品券についてはイベント等で報奨的な支出がある場合は活用するよう指導している。



Q 福舞里プランの進捗状況は

A 現在実施計画を協議中である

佐藤孝昭 議員

【福舞里プランの進捗状況は】

問 旧白沢村の農業振興政策であった福舞里プランは、平成15年から産学官による検討や調査が行われてきた。新市の基本計画事業にもなっているが、実施段階はいつになるのか。また、このプランの農業法人の立ち上げの進捗状況は。

【現在実施計画を協議中である】

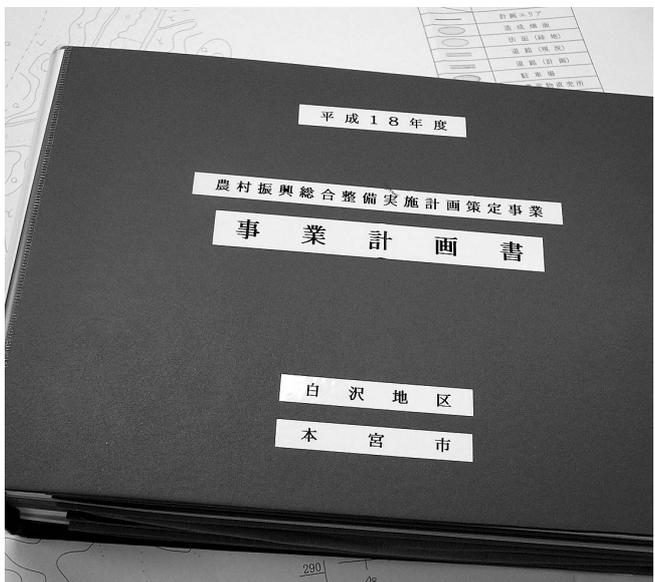
答 遊休農地の解消と、地域活性化を目指し、行政と一体となって活動する組織と位置づけ、旧白沢村で検討してきたが、新生本宮市としても協議を始めたところである。現在、庁内での合意が得られるよう努力している。

【構想事業の実現の見通しは】

問 基本計画事業の次に、財政運営の状況を勘案して取り組むのが構想事業であるが、実際は、すぐやらなければならぬものばかりである。総合支所の改築や、福沢地区の道路改良など、構想事業の実現目標を、何年先と見ているか。

【財政状況を勘案した中で進めたい】

答 今後、総合計画を策定する事業の中で、構想事業等については、財政の状況を見ながら取り組んでいきたい。総合支所の建設は、支所の機能、建設場所等々について今後検討しながら、実施時期等も含め、具体的に示したいと考えている。



事業の実施時期は



本築堤の早期実現を

【阿武隈川本築堤の整備は】
近年の地球温暖化による気候の変化、河川上流域の都市化に伴う保水力の低下により集中的な被害が発生している。本宮、白沢の堤防整備の進捗状況は。また、河川敷内高木地区側に運動公園整備の考えは。さらに堤防に桜を植え桜並木を街の名所にする考えは。

【住民と行政が一体となり要望活動を展開する】
答 治水・利水そして調和のとれた具体的な施策を定めることを目標に、福島河川国道事務所では阿武隈川水系の河川整備計画を策定した。河川敷に運動広場を整備するための十分な川幅の確保が困難であり、河川管理者から桜の植栽について同意が得られない。

【市街地整備計画を問う】
答 駅前を中心とした南町裡、九繩、太郎丸の道路は狭く、4号線に抜ける踏切も非常に危険であり今後の整備計画は。また安達橋、下町側・高木側の今後の整備の見直しは。

【検討委員会を設置し計画を練っていききたい】
答 市道太郎丸・花町線は国道4号から中心市街地に入る南玄関口となる重要な路線であり、整備順序を勘案しながら東西道路の確保を進めたい。高木側と国道4号を結ぶ路線は、都市計画マスタープランや都市計画道路網の見直し作業の中で議論を重ねたい。



Q 阿武隈川本築堤の整備は
A 住民と行政が一体となり要望活動を展開する

国分民雄
議員



Q どうする高齢者対策
A 医療費抑制事業と個人負担の調整を行う

佐藤正芳
議員

【どうする高齢者対策】
問 高齢者にとって、財政的な問題、家族構成の問題、医療の高度化医療費改定による高額負担等々の不安があると思われる。高齢者の方々に安心して生活してもらえる施策が必要である。高齢者の対策をどのように考えているか。

【医療費抑制事業と個人負担の調整を行う】
答 本市の高齢化率（65歳以上）は21・6%で、今後増加する。今後は保健師や民生委員、その他高齢者の福祉に関わる人と連携し事業を進めたい。負担割合については、所得の段階によって調整し、受けられるようにしたい。

【本宮市財政健全化の道筋は】
問 「自治体は倒産しない」という常識は、通用しない時代である。本宮市全体の借入金を示し、今後の健全化の計画を早急に作って行くべきと考えるが、その対策は。

【早期財政健全化計画を策定する】
答 地方財政の現状は、大変厳しいを増しており成り立たない自治体も出ている。現在21%の公債比率は平成24年度には17%程度と予測しており、今後の事業を含め、バランスを考えただで財政健全化計画を早期に策定する。



健康が一番ですね



陳情路線の改良は



Q 税源移譲・定率減税廃止の影響は

A すべての市民に影響する

伊藤 五郎 議員

【税源移譲・定率減税廃止の影響は】

地方分権の推進による三位一体改革に基づく税源移譲や、定率減税の廃止によって納税額が増え、市民に大きな影響が出るものと考えられるが、市当局はどのように認識しているのか。納税者客体の把握は適切か。

【すべての市民に影響する】

定率減税の廃止に伴い最低100円から最高2万円（平均7千円程度）、すべての市民が負担増になる。税源移譲では、市民税と所得税が、総体的には同じだが、低所得者への影響は非常に大きい。課税客体については税務署や関係機関と連携

を密にしながら把握に努めている。

住民の要望事項の予算化は旧町村議会で採択された請願、陳情事項は予算化されているか。また、今後の施策はどうか。

【緊急度の高いものを優先する】

に重く受け止めている。その時々予算の状況、地域性、全体的な地域のバランス、危険度の度合い等を勘案し、要件を十分検討しながら予算に反映していく。緊急度の高いものについては、これを優先するという基本的な考えは持っている。



Q やさしい住まいづくりを助成すべき

A 今後財政見直しの中で検討する

川名 順子 議員

【やさしい住まいづくりを助成すべき】

若者の数が減少する中、介護保険制度の健全な運営と持続性を図っていかねばならない。介護保険制度を安定させるには要介護状態に陥る事を防ぐ介護予防が極めて重要。要介護要支援状態にならない様住宅を

改修する方へ改修資金の助成を。

【今後財政見直しの中で検討する】

旧白沢ではやさしい住まいづくりとして事業を展開。旧本宮では事務事業の見直しで廃止。要介護に該当すれば、実質住宅改修事業がある。合併の中で、これらの事業

は統一されたが、今後財政見直しの中で検討する。

【子供の読書推進はいかに】

平成19年度文部科学省の予算の中で、「学校図書館図書整備5カ年計画」が計画されている。学校図書館を充実させ、図書司書の増員を図り、図書館との連携を図るべ

【子供読書推進計画に基づき】

12学級以上の学校に司書教諭を配置している。学校における読書教育・地域における読書教育・市全体における読書教育を充実したものに進めたい。



学校図書の充実を



新市の均衡ある発展を

【憲法に対する認識を問う】
市長は施政方針の中で、「新市の円滑な運営の確保と均衡ある発展、新市の一体性の確保及び市民福祉の増進を図ることを念頭に」と述べられたが、この立場は日本国憲法を尊重し、その精神を市政運営に貫くもの、と理解してよいか。

【地方自治の本旨に基づき行動する】
日本国憲法は、国の最高法規であり、憲法と地方自治の関係では、地方自治体の組織・運営は、地方自治の本旨に基づき法律で定める規定がある。国では議論があるが、私は本宮市をどうしていくかというところで頭が100%以上であり、しつかりと

この本旨に基づき行動していきたい。
【白沢地域が取り残されるのでは】
白沢地域が取り残されるという地域住民の心配の声が聞かれる。これにどのように応えていくのか伺う。市長選挙の中でも議論されたことでもあり、その考えは。

【均衡ある発展を目標にしている】
新しい市の均衡ある発展に目標を置いており、合併協議で作った基本計画は、誰が市長になっても進めることになる。それぞれの地域特徴をどう生かしていくかが、市全体の活性化・まとまりのある発展につながっていく。



渡辺 忠夫 議員

Q 憲法に対する認識を問う

A 地方自治の本旨に基づき行動する

【少子化対策の推進をすべき】
国民健康保険加入者が出産のため入院した場合、国保からその産院に出産育児一時金を払い込み、退院する時に精算する「出産育児一時金の委任払い」を採り入れては。岩根小学校放課後児童クラブを岩根公民館の中へ移すべきでは。

【出産育児一時金委任払いを4月より実施する】
出産育児一時金については、経済的負担の軽減を図る上で重要な施策と考える。出産費用を35万円の範囲内で出産育児一時金治療委任払い制度を4月より実施する準備をしている。岩根放課後児童クラブの件については、今後検討させていただきたい。

【本宮市の活力は財政再建から】
本宮市の借金総額は約353億円で「連結債務残高比率」を大きく超えている。次世代へ過重な借金を残さないよう更なる財政再建策を行うべきではないか。県内の首長の過半数は多選に批判的である。市長「多選自粛条例」を制定してはどうか。

【ようやく目安がたってきた】
財政基盤を安定させるため旧本宮町では大きな投資の凍結と、サービスマ負担を求め、財政が好転した。19年度、20年度には一般会計から工業団地債務に支援できるめどがたってきた。首長の選出は選挙民に委ねるべき。多選自粛条例制定は考えていない。



Q 少子化対策の推進をすべき

A 出産育児一時金委任払いを4月より実施する

広勝 分議員 国



早期の移転が求められる岩根放課後児童クラブ



S字カーブの改良は



Q 子育て支援はいかに

A 小学生までの入院を無料に

古宮 忠重
議員

【子育て支援はいかに】
問 小学生だけでなく中学生まで医療費の支援を。通院に対しても支援していくべきと思うが。
答 福祉の充実を進めることにより人口増を図り、税収も上がると考えられるが。
【小学生までの入院を無料に】
答 家族も含めて自分た

ちの健康は自分で守ることを基本と考えている。財政的な問題もあり、当面小学生の入院医療費としたい。
提言のあった施策等々は考えていくべき項目であり、住みたいという仕掛けを全体的にしていきたい。
【道路行政を問う】
問 県道本宮三春線の高

木地区は安達橋とのアクセスが悪く、高木地区の区画整理の中で計画していると聞いているが、今後の取り組みは。県道本宮三春線の糠沢笹田地区の改良を、県に今後どのように進めていくか。
【安全な道路網づくりをしていきたい】
答 安達橋は、阿武隈川

なっている。高木地区の区画整理事業は凍結しているが、県道二本松金屋線を一部改良し、安全な道路網づくりをしていきたい。三春線笹田地区の改良については、今後積極的に要望活動をしていく考えである。



Q 新生本宮市経営の第一歩は

A 心を一つにいい汗をかいていく

二誠 美渥
議員

【新生本宮市経営の第一歩は】
問 (1)市長が公約された新市基本計画の実践は何かから取り組むのか。
答 (2)4年間の施策の中で浸透させたいことは。
答 (3)次世代を担う創造性あふれる人材の育成に心がけることは。

【心を一つにいい汗をかいていく】
答 (1)教育・まちづくり・少子化対策・生きがいづくり等を網羅しながら進めていく。
答 (2)本宮市民の心は一つという思いを持ってもらえよう努力する。
答 (3)心の教育を第一に、教育が運命を変え、学びが人生を充実させる考えの

下に進めていきたい。
【大玉村との今後の交流のあり方を問う】
問 (1)市長は、今後の大玉村との交流をどう考えているか。
答 (2)そのための施策として取り上げたいことはあるか。
【自然体の中で交流していきたい】
答 (1)南達地域振興協議

会や給食センターのように一緒に進んでいる事業を通し、交流を進める。
答 (2)合併問題は、お互いの生き方を尊重し、最終的に一つの区切りをつけた。これ以上のお願いは失礼と考える。自然体の中で交流していきたい。



安達太良の麓に抱かれた南達の今後は

常任委員会現地調査

生活福祉



老人憩いの家を調査

総務文教



糠沢地区放課後児童保育を調査

建設水道



立石山浄水場配水池を調査

産業商工



本宮堆肥センターを調査

請願・陳情文書表

平成19年 第2回 本宮市議会定例会提出

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名及び要旨	提出者 (紹介議員)	審議結果
請願第1号	2月23日	産商工	日豪 EPA 交渉に関する請願書	みちのく安達農業協同組合 代表理事組合長 菊地正一 (伊藤 隆一)	採択
陳情第1号	2月21日	生活福祉	療養病床の廃止・削減計画の中止と介護保険の充実等を求める意見書の提出を求める陳情書	福島県保険医協会 理事長 伊藤 弦	採択
陳情第2号	2月21日	生活福祉	リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため、政府への意見書提出を求める陳情書	福島県保険医協会 理事長 伊藤 弦	採択



3月定例会を傍聴された方は42人でした。
 今回は、その中から大内俊之さん（長屋字
 作之介）に傍聴の感想をお聞きしました。



大内 俊之さん

傍聴のきっかけは

新本宮市が大変重い荷を積み船出する
 初議会は、今後の本宮市を占う意味でも
 大切な議会と思い傍聴しました。

傍聴をした感想は

厳粛な中激論を交わし質疑応答を予想
 しておりましたが、少し和む場面もあ
 り、心を落ち着けて傍聴させていただきました。

今後議会に望むことは

本会議までに質問・答弁が準備され、
 ややもすると緊張感が薄い空気の中で議
 事が進行していくものです。
 執行機関に対して、批判、牽制、監視
 の権限が与えられている議員、その権限
 が充分に発揮できる議会であることを望
 みます。

議会広報特別委員会



- | | | | | | | | |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 委員長
渡辺由紀雄 | 副委員長
川名 正勝 | 委員
川名 順子 | 委員
遠藤 孝夫 | 委員
三瓶 五一 | 委員
古宮 忠重 | 委員
本多 勝春 | 委員
根本 善裕 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

あとがき

合併後初の定例議会が開催されました。
 合併後初の予算議会ということで市民の関心も高かった中で、
 活発な議論が交わされたうえで、全ての議案が原案どおり可決決
 定されました。
 在任特例によって議員の数が増えた訳ではありますが、当市議会
 においてはお互いの議員が良い面で刺激し合って新生本宮市を全
 県に誇れる市にしようと頑張っております。
 我々広報委員も中立公正な立場で議会の活動内容を伝えていき
 ますので御愛読の程よろしくお願いいたします。
 (由)

議会を傍聴してみませんか。

**6月定例会は6月中旬
 開会予定です**

議会事務局
 TEL 33-1111
 (内線301)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。